

統合収納および統合滞納との連携について

後期高齢支援システム標準化検討会
第6回 バンダ分科会
2023年11月29日 【資料2】別紙1

別紙1

①統合滞納のみと連携する場合

後期高齢 機能別連携仕様【第2.1版】		連携 要否	理由	機能・帳票要件におけ る管理機能の有無	
統合滞納 → 後期高齢	滞納明細管理	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③滞納明細管理(統合収納管理)を、④受信する。	○	・収納管理を行うため。 ・広域標準システムに滞納データを連携するため	有
	分割納付計画情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③分割納付計画情報(統合収納管理)を、④受信する。	○	分納期別の情報を管理していないと収納情報を取込できないため。	
	徴収(換価)猶予情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③徴収(換価)猶予情報(統合収納管理)を、④受信する。	○	徴収猶予の情報を広域連合と共有するため。	
	延滞金減免情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③延滞金減免情報(統合収納管理)を、④受信する。	○	延滞金の金額を管理していないと正しく収納情報を消込できないため。	
	差押情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③差押情報(統合収納管理)を、④受信する。	○	・それぞれの処分金額を収納データとして消込するため ・広域標準システムに収納データを連携するため	
	参加差押情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③参加差押情報(統合収納管理)を、④受信する。	○		
	繰上徴収情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③繰上徴収情報(統合収納管理)を、④受信する。	○		無
	交付要求(交付破産)情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③交付要求(交付破産)情報(統合収納管理)を、④受信する。	○	・交付要求により得た収納金額を消し込むため ・広域標準システムに収納データを連携するため	有
	執行停止情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③執行停止情報(統合収納管理)を、④受信する。	○	・収納管理を行うため。 ・広域標準システムに欠損情報を連携するため	
	不納欠損期別情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③不納欠損期別情報(統合収納管理)を、④受信する。	○		
	納付書発行情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③納付書発行情報(統合収納管理)を、④受信する。	○	・納付書が変更された場合、消込に活用するため	
	充当明細	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③充当明細(統合収納管理)を、④受信する。	△	・配当充当は納付書にて消し込む運用を想定(統合滞納の機能ID:0370183 充当期別分の納付書を出力できること。充当期別分の納付書は、時効の更新が行われない充当用納付書であること。)しているため、消し込まれた明細を連携されて取り込む要件まで必要かについて要検討	
	承継納税義務者情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③承継納税義務者情報(統合収納管理)を、④受信する。	△	被相続人が後期高齢者医療保険の保険料を未払いのまま亡くなってしまった場合、その相続人は未払いとなっている後期高齢者医療保険の保険料支払い債務を相続した人として保険料の支払い義務を負うことから、その承継人を参考情報として確認するため。(いずれにせよ保険料精算のために承継人が窓口に来るため必須ではない)	無
	時効管理情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③時効管理情報(統合収納管理)を、④受信する。	○	・収納管理を行うため。 ・広域標準システムに欠損情報として連携するため	有

後期高齢 機能別連携仕様【第2.1版】			連携 要否	理由	機能・帳票要件におけ る管理機能の有無
後期高齢 → 統合滞納	収納情報	①後期高齢支援システムが、②個人住民税システムに、③収納情報を、④提供する。	○	統合滞納システムが必要と規定されてい るため	有
	期割情報	①後期高齢支援システムが、②個人住民税システムに、③保険料の期割情報を、④提供する。	○		
	住登外者宛名基本情報	①後期高齢支援システムが、②庁内基幹業務システムに、③住登外者宛名基本情報を、④送信する。	○		
	送付先・連絡先情報	①後期高齢支援システムが、②庁内基幹業務システムに、③送付先・連絡先情報（統合収滞納管理）を、④送信する。	○		
	調定収納情報	①後期高齢支援システムが、②庁内基幹業務システムに、③保険料の調定収納情報（統合収滞納管理）を、④提供する。	○		
	振替口座情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能に、③口座情報を、④送信する。	○		
	返戻情報	①後期高齢支援システムが、②庁内基幹業務システムに、③返戻情報（統合収滞納管理）を、④送信する。	○		
	収納履歴情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能に、③収納履歴情報（統合収滞納管理）を、④提供する。	○		
	督促情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能に、③督促情報（統合収滞納管理）を、④提供する。	○		
	督促停止情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能に、③督促情報（統合収滞納管理）を、④提供する。	○		
代理人情報	①後期高齢支援システムが、②庁内基幹業務システムに、③代理人情報（統合収滞納管理）を、④送信する。	○		無 (口座区分として代理人は管理しているが代理人そのものを管理していない)	

②統合収納＋統合滞納と連携する場合

後期高齢 機能別連携仕様【第2.1版】			連携 要否	理由	機能・帳票要件におけ る管理機能の有無
統合収納 → 後期高齢	調定収納情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能より、③調定収納情報（統合収滞納管理）を、④受信する。	○	広域標準システムに収納データを連 携するため	有
	収納履歴情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能より、③収納履歴情報（統合収滞納管理）を、④受信する。	○		有
	督促情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能より、③督促情報（統合収滞納管理）を、④受信する。	○	広域標準システムに滞納データを連 携するため	有
	督促停止情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能より、③督促停止情報（統合収滞納管理）を、④受信する。	—		無(督促抑止は行える が停止そのものを管理 はしていない)
	督促停止期別情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能より、③督促停止期別情報（統合収滞納管理）を、④受信する。	—		
	振替口座情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能より、③振替口座情報（統合収滞納管理）を、④受信する。	○	納付書発行時等に口座の有無を確認 するため	有
	返戻情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能より、③返戻情報（統合収滞納管理）を、④受信する。	○	郵送物の返送管理を賦課等と関連さ せて行うため。	有
	代理人情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能より、③代理人情報（統合収滞納管理）を、④受信する。	○	口座区分として代理人は管理してい るが代理人そのものを管理していな いため。	無
送付先・連絡先情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能より、③送付先・連絡先情報（統合収滞納管理）を、④受信する。	○	納付書発行時に送付先の有無を確認 するため	有	

後期高齢 機能別連携仕様【第2.1版】			連携 要否	理由	機能・帳票要件におけ る管理機能の有無
統合滞納 → 後期高齢	滞納明細管理	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③滞納明細管理(統合収滞納管理)を、④受信する。	○	広域標準システムに滞納データを連携するため	有
	分割納付計画情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③分割納付計画情報(統合収滞納管理)を、④受信する。	○	分納期別の情報を管理していないと広域連合に正しく収納データを連携できないため。	
	徴収(換価)猶予情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③徴収(換価)猶予情報(統合収滞納管理)を、④受信する。	○	徴収猶予の情報を広域連合と共有するため。	
	延滞金減免情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③延滞金減免情報(統合収滞納管理)を、④受信する。	—	延滞金の情報は広域連合には連携していないため。	
	差押情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③差押情報(統合収滞納管理)を、④受信する。	○	広域標準システムに収納データを連携するため	
	参加差押情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③参加差押情報(統合収滞納管理)を、④受信する。	○		
	繰上徴収情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③繰上徴収情報(統合収滞納管理)を、④受信する。	○		
	交付要求(交付破産)情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③交付要求(交付破産)情報(統合収滞納管理)を、④受信する。	○		
	執行停止情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③執行停止情報(統合収滞納管理)を、④受信する。	○	広域標準システムに欠損情報を連携するため	無
	不納欠損期別情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③不納欠損期別情報(統合収滞納管理)を、④受信する。	○		
	納付書発行情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③納付書発行情報(統合収滞納管理)を、④受信する。	○	・納付書が変更された場合、消込に活用し、広域標準システムに収納データを連携するため	有
	充当明細	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③充当明細(統合収滞納管理)を、④受信する。	△	・配当充当は納付書にて消し込む運用を想定(統合滞納の機能ID:0370183 充当期別分の納付書を出力できること。充当期別分の納付書は、時効の更新が行われない充当用納付書であること。)しているため、消しまれた明細を連携されて取り込む要件まで必要かについて要検討	
	承継納税義務者情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③承継納税義務者情報(統合収滞納管理)を、④受信する。	△	被相続人が後期高齢者医療保険の保険料を未払いのまま亡くなってしまった場合、その相続人は未払いとなっている後期高齢者医療保険の保険料支払い債務を相続した人として保険料の支払い義務を負うことから、その承継人を参考情報として確認するため。(いずれにせよ保険料精算のために承継人が窓口に来るため必須ではない)	無
	時効管理情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能より、③時効管理情報(統合収滞納管理)を、④受信する。	○	・広域標準システムに欠損情報として連携するため	有

後期高齢 機能別連携仕様【第2.1版】			連携 要否	理由	機能・帳票要件におけ る管理機能の有無
後期高齢 → 統合収納	期割情報	①後期高齢支援システムが、②個人住民税システムに、③保険料の期割情報を、④提供する。	○		
	住登外者宛名基本情報	①後期高齢支援システムが、②庁内基幹業務システムに、③住登外者宛名基本情報を、④送信する。	○	統合収納システムで消込や対象者の管理に必要なため	有
	送付先・連絡先情報	①後期高齢支援システムが、②庁内基幹業務システムに、③送付先・連絡先情報（統合収納管理）を、④送信する。	○		
	調定収納情報	①後期高齢支援システムが、②庁内基幹業務システムに、③保険料の調定収納情報（統合収納管理）を、④提供する。	-		
	納付書発行情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能に、③納付書発行情報（統合収納管理）を、④送信する。	○	統合収納システムが必要としているため	後期高齢支援システムで管理している 返戻情報を共有するため
	返戻情報	①後期高齢支援システムが、②庁内基幹業務システムに、③返戻情報（統合収納管理）を、④送信する。	○		
	滞納明細情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能に、③滞納明細情報（統合収納管理）を、④提供する。	-	滞納情報は統合滞納で管理されているため	有
	分割納付計画情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能に、③滞納整理の結果を収納管理に反映させるために、分割納付計画情報（統合収納管理）を、④提供する			
	執行停止情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能に、③滞納整理の結果を収納管理に反映させるために、執行停止情報（統合収納管理）を、④提供する			
	不納欠損期別情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能に、③滞納整理の結果を収納管理に反映させるために、不納欠損期別情報（統合収納管理）を、④提供する			
	徴収猶予情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能に、③滞納整理の結果を収納管理に反映させるために、徴収猶予情報（統合収納管理）を、④提供する			
	時効管理情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能に、③滞納整理の結果を収納管理に反映させるために、時効管理情報（統合収納管理）を、④提供する	-	代理人の情報は統合収納・滞納で管理する前提のため	無 (口座区分として代理人は管理しているが代理人そのものを管理していない)
	代理人情報	①後期高齢支援システムが、②庁内基幹業務システムに、③代理人情報（統合収納管理）を、④送信する。			
	年金特別徴収処理結果情報 (22通知)	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能に、③年金特別徴収処理結果情報（22通知）を、④送信する。	○	特徴の消込に必要なため	
	延滞金減免情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能に、③滞納整理の結果を収納管理に反映させるために、延滞金減免情報（統合収納管理）を、④送信する	-	滞納情報は統合滞納で管理されているため	有
	差押情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能に、③滞納整理の結果を収納管理に反映させるために、差押情報（統合収納管理）を、④送信する			
	参加差押情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能に、③滞納整理の結果を収納管理に反映させるために、参加差押情報（統合収納管理）を、④送信する			
	繰上徴収情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能に、③滞納整理の結果を収納管理に反映させるために、繰上徴収情報（統合収納管理）を、④送信する			
交付要求（交付破産）情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能に、③滞納整理の結果を収納管理に反映させるために、交付要求（交付破産）情報（統合収納管理）を、④送信する				
充当明細	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能に、③滞納整理の結果を収納管理に反映させるために、充当明細（統合収納管理）を、④送信する	-	滞納情報は統合滞納で管理されているため	有	
承継納税義務者情報	①後期高齢支援システムが、②統合収納管理機能に、③滞納整理の結果を収納管理に反映させるために、承継納税義務者情報（統合収納管理）を、④送信する				
					無

後期高齢 機能別連携仕様【第2.1版】			連携 要否	理由	機能・帳票要件におけ る管理機能の有無
後期高齢 → 統合滞納	収納情報	①後期高齢支援システムが、②個人住民税システムに、③収納情報を、④提供する。	-	統合収納システムから統合滞納システム に連携されるため	/
	期割情報	①後期高齢支援システムが、②個人住民税システムに、③保険料の期割情報を、④提供する。			
	住登外者宛名基本情報	①後期高齢支援システムが、②庁内基幹業務システムに、③住登外者宛名基本情報を、④送信する。			
	送付先・連絡先情報	①後期高齢支援システムが、②庁内基幹業務システムに、③送付先・連絡先情報（統合収納管理）を、④送信する。			
	調定収納情報	①後期高齢支援システムが、②庁内基幹業務システムに、③保険料の調定収納情報（統合収納管理）を、④提供する。			
	振替口座情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能に、③口座情報を、④送信する。			
	返戻情報	①後期高齢支援システムが、②庁内基幹業務システムに、③返戻情報（統合収納管理）を、④送信する。			
	収納履歴情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能に、③収納履歴情報（統合収納管理）を、④提供する。			
	督促情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能に、③督促情報（統合収納管理）を、④提供する。			
	督促停止情報	①後期高齢支援システムが、②統合滞納管理機能に、③督促情報（統合収納管理）を、④提供する。			
代理人情報	①後期高齢支援システムが、②庁内基幹業務システムに、③代理人情報（統合収納管理）を、④送信する。				